

「TOKYO GLOBAL GATEWAY」で英語体験学習

本区では、令和4年度から区立小学校と保田しおさい学校の5・6年生全児童を対象に「小学生英語体験プログラム」を実施しています。令和5年度からは、中学1年生まで対象を広げ、小・中学校3年間を通した英語体験の充実を図っています。

指導室 ☎03-5654-8471



小学校英語体験プログラムとは、江東区青海にある体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)」において、非日常の空間の中で、児童・生徒8名につき1名のイングリッシュ・スピーカー(エージェン)が付き、英語でのやりとりや様々なプログラムを通して、「分かった」「通じた」という英語によるコミュニケーションの成功体験を味わうことができます。

TGG施設内のホテルゾーンやキャンパスゾーンにおけるプログラムでは、海外での生活や日常の場面を疑似体験し、英語のやりとりを促します。また、グループで実験したり企画したりするプログラムでは、課題を解決するために仲間と協力して

エージェンと英語でコミュニケーションをとりながら、専門的な内容について学びます。

実施後のアンケートでは、「英語が好き」だと肯定的に回答する児童の割合が増加しており、小学6年生の9割以上が「5年生での体験と比べて、英語によるコミュニケーション能力が高まった」と回答しました。また、参加した教員からは、「コミュニケーションへの意欲や積極性が高まった」「自分の考えを英語で表現できるようになった」などの声が寄せられています。



イングリッシュキャンプを実施しました

7月31日から8月2日まで、英語のみの環境で生活する「葛飾区中学生イングリッシュキャンプ」を実施しました。

指導室 ☎03-5654-8471

イングリッシュキャンプは、全区立中学校の1・2年生から選ばれた96名の生徒が、福島県にある、中世英国を再現した施設「ブリティッシュヒルズ」において、2泊3日の体験型英語学習を行うものです。

参加生徒は5つのグループに分かれ、自己紹介や自分のことを相手に伝える活動、海外旅行の様々な場面に対するシミュレーションの活動など、外国人教員によるレッスンプログラムを受講しました。また、テーブルマナー講座を受けながら本格的なコースディナーを楽しみました。

滞在中の様々な場面における英語によるコミュニケーションなど、英語を公用語とする語学環境に加えて、英国を再現した施設環境を活用することで、英国文化・マナーに触れ、英語学習と異文化への興味・関心が高まり、国内にいながら海外で学んだような体験をすることができました。



参加した生徒の声

「積極的に英語で話せるようになった」「英語でのコミュニケーションの楽しさを実感した」「英語がもっと好きになり、英語にもっと触れたいと思った」「この夏の私の宝物になった」

参加生徒はそれぞれの中学校で、体験の内容をまとめた事後学習(報告会)を行います。